みなみおぐに

議会だより

平成30年11月
第112号

平成30年9月定例会　2～3
平成30年度補正予算、条例改正　等

平成29年度決算認定　3～5
一般会計・特別会計決算／監査委員意見書（抜粋）

一般質問　6～11
町政を問う

視察研修報告　12～13
全国森林環境税創設決起大会（秩父市）
新潟県見附市・山形県西川町

議会日誌・編集後記　14

林業活性化のために、南小国町森林組合で執務にあたる職員の皆さん

平成30年9月　第3回定例会

平成30年第3回定例会が9月11日から13日までの3日間開かれた。一般質問には6人が登壇し、町長の施策を質した。この定例会では、平成29年度決算書の認定をはじめ、平成30年度一般会計補正予算、特別会計補正予算書、委員の選任同意など21議案が提出され、慎重な審議の結果、全議案可決、同意、認定となった。

●補正予算

一般会計補正予算書（第4号）

平成29年度決算に伴う財政調整基金積立、情報通信技術利活用補助金によるＩｏＴ推進事業委託料等、1億7401万円増額

主な内容

財政調整基金積立金　8464万円
地域ＩｏＴ実装推進事業委託料　1229万円
ふるさと納税謝礼　5620万円
林業振興不動産購入費　700万円
震災復興プレミアム付商品券発行事業補助金　320万円

（原案可決）

国民健康保険特別会計補正予算書（第2号）

準備基金積立金等1714万円の増額

（原案可決）

後期高齢者医療特別会計補正予算書（第1号）

他会計繰出金73万円の増額

（原案可決）

介護保険特別会計補正予算書（第2号）

介護給付費準備基金積立金等1523万円の増額

（原案可決）

水道事業特別会計補正予算書（第2号）

水道会計財政基金積立金等902万円の増額

（原案可決）

農業集落排水事業特別会計補正予算書（第2号）

農業集落排水事業基金積立金1万円の増額

（原案可決）

特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）

特定地域生活排水事業基金積立金37万円の増額

（原案可決）

公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）

公共下水道事業基金積立金301万円の増額

（原案可決）

●平成29年度決算書

▼一般会計歳入歳出決算書・特別会計歳入歳出決算書（7会計）

（認定）

●熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

（原案可決）

●条例の制定

▼南小国町いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定について

総務文教常任委員会付託（委員長報告）

（原案可決）

●南小国町黒川温泉駐車場の指定管理者の指定について

黒川自治会会長　松崎郁洋

（原案可決）

●人権擁護委員候補者の推薦について

田の原　森　明治　氏

（同意）

●委員長報告

経済建設常任委員会付託

陳情第1号

（動馬喜集落内利用道路の町道認可及び道路整備）

（採択）

平成30年　第4回臨時会

第4回臨時会が9月4日に開催された

●工事請負契約の締結について

中原中井手水路災害復旧工事　1億9180万円

契約の相手方

大仁産業㈱　佐藤あさみ

（原案可決）

平成30年　第5回臨時会

第5回臨時会が10月3日に開催された

●工事請負契約の締結について

町道中湯田赤迫線道路改良工事　6728万円

契約の相手方

㈲高本産業　高本健次

（原案可決）

平成 29 年度　決算認定

平成 29 年度　一般会計決算

歳入　４７億２，６７２万円

科　　目	金　　額
地方交付税	１７億７，５６５万円
町債	６億６，９５２万円
県支出金	５億０，５８３万円
町税	４億３，０８８万円
国庫支出金	３億２，２１５万円
繰越金	２億９，４１５万円
分担金及び負担金	１億２，５１６万円
寄付金	１億０，４３７万円
その他	４億９，９０１万円

歳出　４２億４，８０５万円

歳出区分	金　　額
総務費 （総務、徴税、戸籍、選挙等）	１２億１，９２１万円
民生費 （老人、児童福祉等）	７億９，２９２万円
衛生費	５億６，８５９万円
農林水産業費	４億２，６７１万円
公債費	２億８，４６１万円
災害復旧費	２億８，４０８万円
教育費	１億９，３９５万円
消防費	１億７，７０６万円
土木費	１億６，３６２万円
その他	１億３，７３０万円

平成 29 年度一般会計は、歳入総額 47 億 2,672 万円から歳出総額 42 億 4,805 万円を差し引くと 4 億 7,867 万円となる。差引額の中に翌年度への繰越財源として２億６，９３９万が含まれているので、これを差し引いた２億 928 万円が黒字となり、翌年度に繰り越された。歳出の性質的な内訳は性質別分類比較表とおりである。

平成 29 年度　特別会計決算

特別会計名	歳　　入	歳　　出
国民健康保険特別会計	８億２，８６２万円	８億０，１５０万円
介護保険特別会計	５億６，９３３万円	５億５，４１４万円
水道事業特別会計	１億７，６０７万円	１億５，７５２万円
農業集落排水事業特別会計	２，７６２万円	２，７６０万円
特定地域生活排水処理事業特別会計	１，７０６万円	１，６３１万円
公共下水道事業特別会計	１億８，５５５万円	１億７，８０５万円
後期高齢者医療特別会計	５，６００万円	５，５２６万円
合　　計	１８億６，０２８万円	１７億９，０４１万円

歳出の性質別分類比較表（一般会計）

単位：千円

性質別	年度	平成28年度 決算額	平成28年度 構成比	平成29年度 決算額	平成29年度 構成比	対前年度増減率
		千円	%	千円	%	%
義務的経費	人件費	673,031	17.81	648,339	15.69	-3.67
	扶助費	308,062	8.15	278,536	6.74	-9.58
	公債費	292,483	7.74	284,618	6.89	-2.69
	計	1,273,576	33.70	1,211,493	29.32	-4.87
経常的経費	物件費	546,548	14.46	559,523	13.54	2.37
	維持補修費	19,070	0.50	16,886	0.41	-11.45
	補助費等	732,425	19.38	747,876	18.10	2.11
	積立金	99,402	2.63	121,435	2.94	22.17
	投資及び出資金・貸付金	8,000	0.21	300	0.01	0.00
	繰出金	321,151	8.50	311,838	7.55	-2.90
	計	1,726,596	45.68	1,757,858	42.55	0.44
投資的経費	普通建設事業費	608,920	16.11	721,822	17.47	18.54
	災害復旧事業費	170,258	4.51	440,572	10.66	158.77
	計	779,178	20.62	1,162,394	28.13	49.18
合計		3,779,350	100.00	4,131,745	100.00	9.32

＊決算統計による性質別分類表のため歳出総額とは同額ではありません。

監査委員の決算意見書

監査委員　下城宣夫
穴井千秋

平成29年度南小国町一般会計他7特別会計歳入歳出決算書に対して町監査委員の意見書が提出されましたので、意見書の抜粋を紹介します。

審査した一般会計他7特別会計は、関係諸帳簿、証拠書類を照合した結果、適正なものと認められました。

●意見書の抜粋

依然として厳しい財政状況下のもと、本町は昨年度の熊本地震に引き続き7月豪雨災害に見舞われ、災害復旧・復興事業に取り組む中で、平成27年に策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略事業5か年計画」の中間年を迎え、これまでの事業成果と今後の展開の真価が問われる時期となった。

前年度より繰越となった黒川地

区環境整備事業、旧庁舎跡地整備事業、臨時福祉給付金、黒川保育園新築工事設計管理委託料、熊本地震住宅応急修理委託料、農業拠点整備事業、水路改修工事、農地災害復旧工事、農業用施設災害復旧工事、公共土木災害復旧工事については、概ね適正に執行されていた。しかし、道路新設改良工事については来年度へ事故繰越となっている。

その他一般会計では、黒川地区環境整備事業、林地崩壊防止事業、道路法面防災工事測量設計業務、農業用施設災害復旧工事、公共土木災害復旧工事、南小国町災害廃棄物処理事業など、合わせて8億848万円が来年度へ繰り越された。

また特別会計では、水道事業特別会計と公共下水道事業特別会計が合計3317万円来年度に繰り越されている。

決算状況を見てみると、一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入で65億8701万円、歳出で60億3846万円であり前年度と比較して歳入で9・8％増、歳出で7・96％増となっており、実質収支は2億7418万円の黒字となっている。

町税収入は前年度と比較して508万円の増となっており、主な要因は熊本地震の影響を受け落ち込んでいた観光客数の回復によるものと思われる。税以外の一般会計及び特別会計の徴収業務についても南小国町債権管理条例により各担当課で連携を取り、悪質な滞納者については法的な措置も検討し、財源の確保と負担の公平原則の上からもより一層頑張ってもらいたい。

各施設の維持管理、各種委託の取扱い、慢性的とみられる補助金など見直すものも多くあると思われ、それらを検討し経常的経費の削減に努めなければならない。

「日本で最も美しい村づくり事業補助金」「夢チャレンジ推進事業補助金」は、南小国町の活性化のために多くの町民に周知し、活用されることを期待する。

本年度より新しく創設されたタクシー利用費助成事業や、集落サポートプロジェクト事業、南小国SMO設立やドローンプロジェクトについても、いまだ未知数ではあるが将来のまちづくりのために今後の事業運営に期待をかけたい。

昨年度より繰り越されていたきよらカァサ改修工事は適正に執行され、リニューアルオープンを迎えた。慢性的な人手不足や今後の管理運営について一層頑張ってもらいたい。

7つある特別会計についてはいづれも実質収支は黒字となっているが、一般会計からの繰出金がある。特別会計は独立採算が基本であるので、経常的経費の減少に努めていただきたい。

まとめとして、

①会計財政健全化審査については、良好な数字となっている。しかし、実質公債費比率等の数字だけにとらわれすぎず、町の活性化に向けた適正な財政管理を行っていただきたい。

②税と保険料、使用料及び負担金等の徴収については、昨年に引き続き滞納額が0円となっている科目があり、担当課の連携が図られているものと評価する。不能欠損処理については、法的に問題が生じないよう処理し、不平等感がないようにしていただきたい。

③例年慢性的に歳出に多額の不用額が発生している科目がある。予算措置の段階から適正な処理を望む。

④平成29年度は平成28年の熊本地震とあわせ、7月豪雨災害が発生し、建設事業をはじめ多くの災害復旧事業が繰り越しとなっている。職員の業務負担に対する対策を早急に講じながら、一日でも早い復旧・復興をお願いしたい。

町に人生最期を看取る施設を！

後藤　六男　議員

▼議員

6月大阪北部地震、7月西日本豪雨、今月6日北海道に震度7が発生した。これらの災害で亡くなられた方々に哀悼の意を表し、被害にあった方々と地域には心からお見舞い申し上げたい。

2015年、日本人の年間死亡者数は129万428人、その第二位は悪性新生物、通称がんといわれる。人生最期を看取ってくれる医療、介護施設がないこの小国郷で患者本人は勿論、家族が心身ともに苦痛を受けている。死は人間の尊厳に大切なもの、このサポートをしてくれる施設ができると、対象者はどんなに救われるか。地元で安らかに眠れることが町民の願いである。早急に実現して頂きたい。

●町長

看取りは大きく分けると、点滴や酸素吸入などの医療的ケアを中心的に行う終末期看護と、食事と排せつの介助や床ずれの防止など日常のケアが中心になる看取り介護がある。当町では3施設で看取り介護が行われている。小国公立病院では終末期看護は行われているがそのためだけの部屋はない。内閣府統計では死亡場所は医療機関が81パーセント、自宅が14パーセントとなっている。看取り施設の整備となると各関係機関との協議やヒヤリングが先決と考える。

▼議員

医療というのは特殊性、専門性の分野であり、人生最期を私たちはどう生きるか、若干難しいテーマではあるが町民の皆さんも含めながら考えることは大切なことと思う。

●町民課長

小国公立病院では終末期看護で本人希望により個室か大部屋かの対応をしている。面会時間や家族の付き添いも。

▼議員

小国公立病院ニュースに掲載されていたが少子高齢化に対応するための大改革が予想される。この動きの中に組み入れ、南小国町にこのような機能の施設を作ると、町民の雇用はじめ町の活性化になると思う。最後に小国郷の公共施設は全部、小国町にあるのはいかがなものでしょうか？

●町長

公共施設が小国町に偏っているのは、これまでの歴史の出来事と考えている。

関係機関等と協議やヒヤリングをしながら考えていきたい。

グループホーム森園：9名の方が入所している

水資源を活用した新たな行楽地の開発を、町が主体となって取り組む考えはないか

児玉　秀次郎　議員

▼議員

立岩集落では豊かな湧水を活用し地域活性化を図るため、水源公園が造られ、昨年からは「日本で最も美しい村」補助金で遊歩道の整備等を行い地域住民でそうめん流しを行い、県内外からも多くの観光客が訪れるようになったが、小さな集落でもあり後継者がいないなど今後に不安を抱えての運営である。町が水資源を活用した観光スポットとしてそうめんハウス周辺の整備を行い家族で水遊びなどが出来るなど行楽地として取り組む考えはないかお尋ねする。

●町長

立岩自治会は、少ない会員が協力しながら自ら考え、行動するという地域づくりを行っておられ、町内でも先進的な自治会であると感じている。町としてはこれまでのように、自治会の方々の活動をサポートする形がよいかと思う。人材不足に関しては、現在町が進めているローカルベンチャー推進事業や関係人口創出事業などを活用し、共同で活動していくことも考えられるかと思う。

▼議員

立岩水源公園の水は、超軟水で他の水源の水と比較して非常にまろやかで美味しいということが、インターネットあるいはフェースブック等で紹介されて水汲みに来られる人が引っ切り無しに来ており、「日本で最も美しい村」づくり補助金を活用して遊歩道、駐車場の整備、トイレを設置したことは地域の活性化だけではなく、間違いなく南小国町の新たな観光スポットになったと確信したわけで、今回提案をさせていただいた次第です。

●町長

今後人口が減少してくるという中では、運営といったものは、非常に厳しい部分が出てくるかもしれない。色々な可能性を探りながら、町としてやるべきこと、地区でやっていただきたいことなどを協議とかヒヤリングを行い、どういった方向性で持っていくのか、お話を継続的にさせていただければと考えている。

多くの観光客でにぎわうそうめん流し（立岩そうめんハウス）

日本で最も美しい村づくりの実態は？

穴井　千秋　議員

▼議員

平成24年10月に、南小国町で最も美しい集落はどこかという事で、大学の教授方を招いてM1コンクールなるものを開催して、千光寺、田中を含めた竹の熊上り集落がグランプリを獲得したが、その後、補助金の予算化はしているが活動が見えていない、本年度の事業申請状況と予算の消化を考えるならその対策は考えているのか。

●町長

南小国町「日本で最も美しい村」づくり事業補助金は、この美しい村連合の目的を達成するための人材育成や景観整備、再生可能エネルギー開発、特産品開発などの一助になればと、平成28年度に創設された。28年度の実績は景観整備関係1件、379万1千円、特産品開発関係1件、14万4千円、人材育成関係1件、7万6千円、29年度景観整備関係1件、123万6千円、特産品開発1件、21万4千円、人材育成関係1件、4万3千円となっている。30年度前期は景観整備関係1件、196万7千円、特産品開発関係1件、158万円、地域づくり関係1件、121万6千円の補助金交付決定を行い、事業に取り組んでいただいている。後期分についても現在募集を行っている。

ご指摘のとおり、それらの活動の実態が見えないところもあったかと思うので、SMOのホームページやケーブルテレビなどを使い、町内外の方々への情報発信も考えたい。

▼議員

日本で最も美しい村の加盟は5年ごとに審査があり、議員の同意をとる必要があるのではないか、また負担金の使われ方についてお尋ねする。

●まちづくり課長

議会の同意については確認をさせていただきたい。負担金の算定方法については人口割が町民1人当たり40円、人口区分割が3千人から1万人未満が20万円となっている。負担金の使い道は、事務局が東京にあり、事務局の運営費とか総会、フェスティバルなどに使われている。

竹の熊・千光寺の田園風景

防災対策は充分か？
障害者雇用の現状は？

河津　利明　議員

▼議員

小、中学校のブロック塀については、全国的に点検が行われているが、町内における状況はどうなっているか。

また、自治体によっては、個人の住宅のブロック塀の点検や耐震診断も行政の負担で行うところもあると聞いているが、町ではどう取り組んでいるか。

地震をはじめ災害はいつおこるかわからない状況でもある。事前の対策こそ必要と考えるが、町の対策は十分といえるのか。町長の考えを伺いたい。

●町長　いっそう強化していく

小、中学校のブロック塀については、調査をした結果、市原小学校、南小国中学校において、不適合のブロック塀と確認された。これについては、今回の議会に測量設計委託料の補正予算を計上しており、2019年度中に改修工事を完了させたい。

民間のブロック塀への対策については、県の補助事業が行われる予定なので、それをうけ検討していく。

災害に対する事前の対策としては、昨年度に総合防災マップを作成し、配布した。自主防災組織による合同訓練も行い、今年度も実施する予定である。

今後も、防災に関する啓発に努め、町の対策の強化のため、近年の大規模自然災害の被災自治体の状況や対策についても情報集取をすすめ、町の防災対策に反映させていく。

町内にいたる所に、ブロック塀は点在している

▼議員

障害者雇用問題については、国の省庁におけるごまかしが問題となっている。町における雇用状況はどうなっているか。

●町長

法改正によって本年度より1名不足している状況なので、是正するよう努力したい。

町の児童虐待防止の取り組みは？

穴井　則之　議員

▼議員

近年、児童虐待のニュースを多く聞くようになった気がする。3月には東京都目黒で5歳の女の子が両親から虐待を受け亡くなるという悲惨な事件は記憶に新しいところである。心理的、身体的な虐待を見逃すことはできず、またいろいろな事案はどこで起きてもおかしくない状況にある。南小国町では児童虐待防止に対してどのような取り組みを行っているのか町長に伺いたい。

●町長

熊本県の状況は昨年、児童虐待の相談件数は1，248件あり、10年前の4倍で心理的が45パーセント、身体的が28パーセントとなっている。当町では、平成26年度から現在まで相談は4件、そのうち3件は離婚、転出などにより終結、1件が継続中。町では虐待防止等対策連絡協議会を設置し要保護児童の早期発見やその適切な保護等、虐待防止の活動を行っている。

具体的な支援策として町は乳児のいる全世帯を保健師が訪問し養育指導し、虐待の観察等実施。子育て中の親子には、りんどう荘で支援広場を開設。保育園では毎朝、異常がないか観察。小、中学校においても虐待がないか注意して観察している。

●福祉課長

児童福祉法改正が平成28年に決まり、子育て支援のための専門職の配置、子育て支援センターの設置を町民課、福祉課で検討している。

▼議員

この虐待の問題は要因として核家族化を背景とした子供の養育力不足、また、社会から孤立した家庭の増加がある。起った場合の原因をどう除去するか一番大事なことと考える。最後に躾（しつけ）と虐待に私の見解を述べたい。褒めながら躾をする。親、保護者自身が一番に楽しんで子育てをする。こういう環境を創ることが一番必要と思う。

●町長

本町で児童虐待が起こらない仕組みづくりをするため「こどもスマイル100パーセントプロジェクト」「オレンジリボン運動」など参考にしたい。

本町の経済自立を伺いたい！

井上　則臣　議員

▼議員

一極集中経済の今日、都市型集中と地方型分散のシナリオが議論される中、地方経済の悪循環をどう断ち切るか、本町においても豊かな町をめざし経済自立を確立するためにいろんな策を企画しているが、その趣旨、目的を明らかにしてほしい。

●町長

我町の各産業は、有害鳥獣、付加価値創り、人材不足、二次交通等課題を多く抱えている。特に人材不足は喫緊な課題である。人材確保のためローカルベンチャー推進事業と関係人口創出事業を今年度からスタートしているし、広く町内外からスキル，知見を持つ人材を我町で活かして貰うきっかけ創りを行っている。

▼議員

町内経済自立が構築されないと、人が集まるとこに金も動くとの原則論が有るが、町民とともに豊かな町創りを考え共有してはどうか。

●町長

経済自立の為、しなやかな強さを持った経済を造り上げたい。そのためには地域内乗数効果の数値を高めることが大事です。いかに町内で購買率や消費率を高めるかがカギになる。町では地元経済を見える化するために、各事業所と協力し産業関連表を作成している。

▼議員

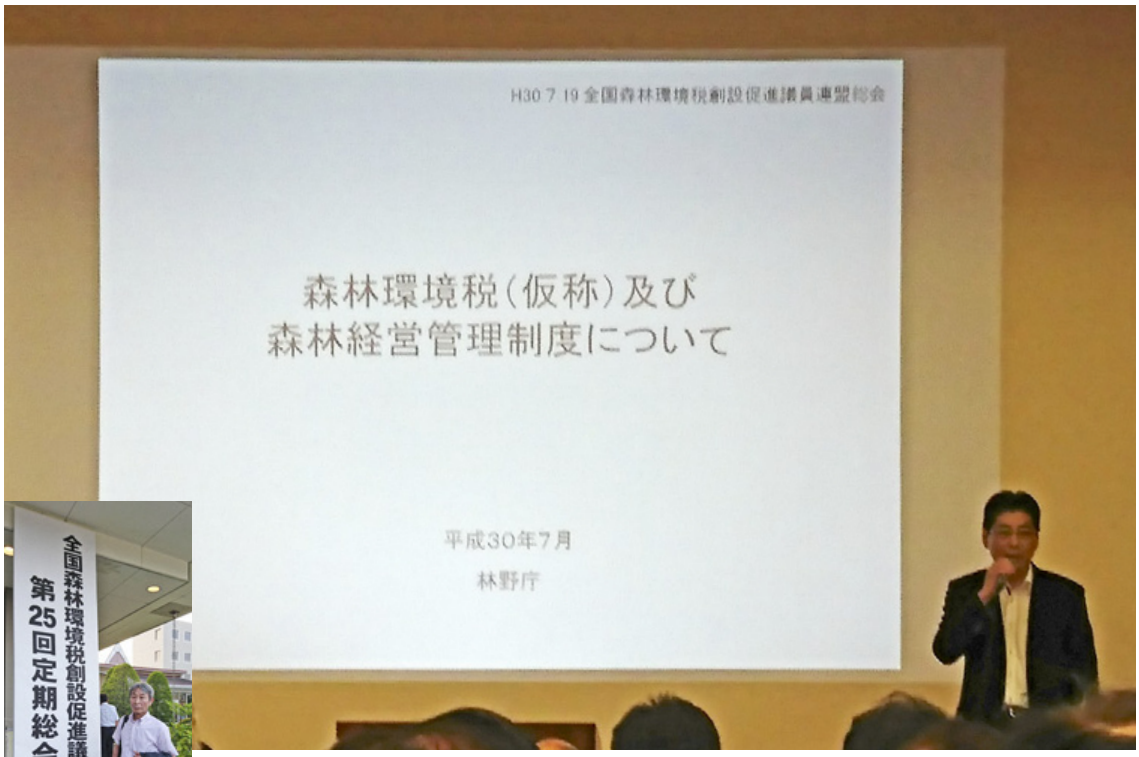
町民と共に課題を共有し、課題を推進させることが肝要だと思うが、ビジョン等があれば教えてほしい。

●町長

国内外に南小国を知らしめる事が必要だと思う。町内外からの人材や投資を招く環境造り、30年後の南小国のありたい姿を描くため の共有ビジョンの策定を進めている。

南小国町の 30 年後は？
共有ビジョン策定会議が定期的に行われている

全国森林環境税創設決起大会（埼玉県秩父市）



7月19日に、全国森林環境税創設決起大会、第25回定期総会が、埼玉県秩父市で行われました。本町からは、穴井則之総務文教常任委員長、矢津田道夫経済建設常任委員長が参加しました。

議会を見に来ませんか

議会は役場大会議室「きよらホール」で開催されます。
次回の定例会は12月です。
日程が決まりましたら、ケーブルテレビ文字放送でお知らせします。

「議会だより」についてのご意見・感想もお寄せください。
お気軽に議会事務局まで
電話４２－１１１１(内線５００)　FAX ４２－１１２２
E-mail：gikai@town.minamioguni.ig.jp

健幸づくり事業、総合産業基盤強化プロジェクト事業を学ぶ（新潟県見附市・山形県西川町）

議会研修報告　広報調査対策特別委員長　河津利明

南小国町議会は、９月26、27、28日の三日間、新潟、山形への研修を行った。

最初の研修先は、新潟県見附市。新潟県のほぼ中央に位置し、人口４１０００人ほどの市である。この市は「スマートウエルネスみつけ」の実現をかかげ、なかでも将来の人口減少、高齢化にそなえて市民の健康つくりが必要との認識から、「健幸」の理念をかかげて活動している。

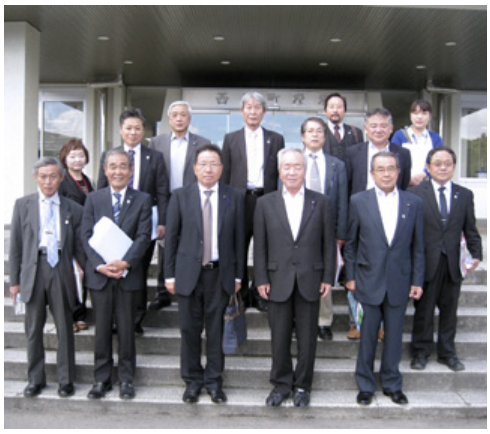
健康運動教室も開いているが参加者が限られており、また、普段から運動しない市民が65％という状況でもある。

そこで市が取り組んでいるのが、普段の生活で自然と必要な運動量が満たされる「歩いて暮らす」まちづくりである。市内の各所にウオーキングロードやサイクリングロードを整備し、レンタサイクルなども整備している。また、地域が元気なことが必要として、市内11地区に地域コミュニティ組織を設立、活動拠点として「ふるさとセンター」を設置するなど地域の活性化をすすめている。

市役所のすぐそばにある「ネーブルみつけ」は、健康器具も取りそろえ健康運動教室の拠点となっているとともに、住民の交流の場でもある。

こうした研修内容をふまえ、福祉課の職員1名も参加した。「健幸」とは…個人が健康かつ、生きがいを持ち、安全安心に豊かな生活を営むことができること

次に訪れたのは、山形県西川町。出羽三山のひとつ月山のふもとに広がる山あいの町で、人口は５６００人ほど。ただ、面積は南小国町の３倍以上もあり、その九割が山林という状況である。この町では豊かな自然をいかして「月山自然水」「月山地ビール」の販売を行っている。また、農産物の商品化を目指して、わらび、タラの芽などの山菜の栽培、なめこの栽培などに取り組み、販売促進を行っている。月山ブランド認定制度もつくり、認証マークやロゴマークも添付して町の農産物をＰＲしている。



研修後の昼食では、当地の山菜料理店で「月山山菜そば」をいただいたが、他ではなかなか味わえない料理であった。

日程的にきつい研修ではあったが、十分に有意義な研修となった。

発　行　南　小　国　町　議　会
編　集　広報調査対策特別委員会

〒869-2492
熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場 143 番地
☎ 0967-42-1111㈹　FAX 0967-42-1122

10月19日、きよらホールにて、阿蘇市町村議会議員研修が行われた

平成30年　議長・議会日誌

8月	14	ふるさと花火大会
	26	阿蘇瀬の本高原マラソン大会
	28	阿蘇市町村議長会総会
	28	阿蘇地域の道路整備に関する要望
9月	4	第 4 回臨時会
	4	議会運営委員会
	6	熊日金婚夫婦表彰式
	11～13	第 3 回定例会
	20	吉原大神宮天満宮秋の例大祭
	20	遺族会総会
	22	ＪＡ小国郷畜産共進会
	26～28	議員視察研修
10月	3	第 5 回臨時会
	4	県町村議会議員研修会
10月	5	阿蘇市町村議会事務局長会議
	9	JR 豊肥本線の早期復旧についての要望
	9	防災・危機管理トップセミナー
	12	小田温泉芋煮会
	16	きよら祭り
	17	在熊阿蘇ふるさとの会「かたらんネ！阿蘇」
	18	熊本県町村議会事務局職員研修会
	19	阿蘇市町村議会議員研修会
	20	小国支援学校すぎのこまつり
	24	黒川駐車場落成式
	29～30	阿蘇市町村議会事務局長研修会
11月	5	七団体親睦会

編集後記

●黄金色の稲穂が、爽やかな秋風に包まれる様を見ながら、この美しい光景がこの町の宝に見えてくる今日、この光景を守り続ける人々に感謝したい。

●九月定例の中案件が丁重に審議され、今後の南小国の在るべき姿を真剣に議論した。先ほど新潟のウェルネスタウンを視察研修した。高齢者を如何にして家から出して活動するかに取り組み、保健医療費も全国平均値を大幅に下げている執り組みだった。我町にもお年寄りが家を出て、談話やスポーツを楽しむ施設の充実を痛感した。

●美しい景観を守り、高齢者が元気で豊かな町、南小国。このビジョンを町全体で共有していくにはどのような施策が必要なのか、広く口論を発し、様々な意見を頂戴し、一歩でも前進したいと思ってます。皆様のご意見、ご指導よろしくお願いいたします。

（井上則臣）

発行責任者
議　長　平野　昭夫
広報調査対策特別委員会
委員長　河津　利明
副委員長　井上　則臣
委　員　後藤　六男
委　員　児玉秀次郎